



バイブレーション釣法をもっとシンプルかつ快適に、を実践しつつ数をのぼす富所さん

【連載】※月1連載 釣技 食技 船釣りの作法



其の五 神奈川県横須賀沖のタチウオ

バイブレーション釣法をもっと楽しく簡単にする秘訣。

昨年までとは違って変わって現在の東京湾のテナヤタチウオは誘いが合っていないとアタリすら出せない。その中で生み出されたのが、竿を小さくシヤクリ続けながらリールを小刻みに巻いていく「バイブレーション釣法」だ。「僕も何回も釣行して色いろと試して、ようやく確信が持てるスタイルをつくりだすことができました」かつてティップエギングを能登の海でつくり上げたときのように時間を作

細かいときには66センチ上昇するのに約20秒間をかけて24回、テナヤがヒラを打つ

つては船に乗り、釣り方や道具を試行錯誤したと言ふイカ先生・富所潤さん。「その中でたどり着いたのが、省エネスタイルのバイブレーション釣法です」東京湾タチウオ釣りのパイオニア・こうゆう丸の荻野裕司船長の操船で向かった10月中旬の走水沖。「最近のタチウオは難しいかも」と言う船長は60メートルダチで反応に船を乗せる。「バイブレーション釣法で一番大切なのは、テナヤの動きを明確にイメージすること。海面下でテナヤを動かしてみても、ヒラを打つように動くときの竿の動作を覚えませす」



○富所 潤 富所 潤 現役の整形外科医。実家が釣具店を営んでいた影響で、釣り具が玩具代わりの幼少期を過ごし、いつしかイカの虜に。イカをよく釣る医者と言うことで付いたニックネームが「イカ先生」

タックルの作法

「疲れる」を「楽しい」に変える
タックルバランス。

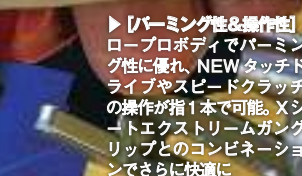


【MUTEK IMOTOR+】素早い仕掛け回収によりエサの確認と交換をためらうことがない。ドラゴン級の引きにも怯むことなく巻き上げる

【中間速設定】好みの速度まで瞬時に巻き上げ、不意の急速巻き上げを防ぐ中間速設定。ドラゴン級が釣れる東京湾のテナヤタチウオでは22に設定



【タッチドライブ&スピードクラッチ】合わせと同時に泳ぎ上がることも多いタチウオ釣りではタッチドライブによる電動巻き合わせも有効。また、ワンタッチでクラッチのオン、オフを行えるスピードクラッチは速潮時の投入で段階的に道糸を止めて落とすときにも重宝する



▶「パーミング性&操作性」ロープロボディでパーミング性に優れ、NEW タッチドライブやスピードクラッチの操作が指1本で可能。Xシートエクストリームガングリップとの組み合わせにより竿を自然な姿勢で支えるため疲労を抑えてくれます。加えて巻き上げなどはモーターが行なってくれますから、釣り始めから沖まで、変わることなく楽しいタチウオの駆け引きに集中できます。これら重量だけでは測ることができない実釣でのバランスと操作性、つまりトータルバランスが、バイブレーション釣法を「疲れる釣り」から「楽しい釣り」へ変えてくれます。(富所潤)

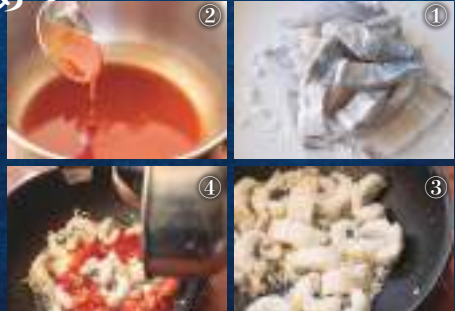
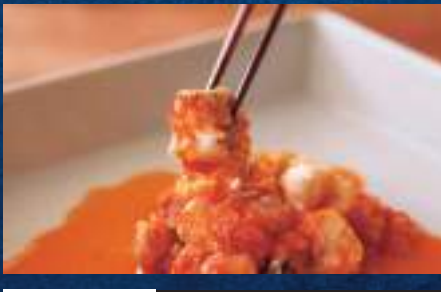
【フォースマスター200】

◎フォースマスター200は小型軽量と同時に高さを抑えたボディ形状によりパーミングしやすく、手の小さい方でも扱いやすいうえ、Xシートエクストリームガングリップとの組み合わせにより竿を自然な姿勢で支えるため疲労を抑えてくれます。加えて巻き上げなどはモーターが行なってくれますから、釣り始めから沖まで、変わることなく楽しいタチウオの駆け引きに集中できます。これら重量だけでは測ることができない実釣でのバランスと操作性、つまりトータルバランスが、バイブレーション釣法を「疲れる釣り」から「楽しい釣り」へ変えてくれます。(富所潤)

●SPEC ギア比=8.2 最大ドラッグ力=5.0kg 自重=395g 糸巻量PE (タナトル) =0.8号-270m、1号-220m、1.5号-150m 最大巻上長=66cm/ハンドル1回転 ペアリング数=BB9/ローラー1 ハンドル長=60mm シマノ巻上力=27kg 実用巻上持久力=3kg 最大巻上速度195m/分

食の作法

ピリッ、フワッが新鮮なタチチリ
～タチウオのチリソース炒め～



①ブツ切りにしたタチウオの身に片栗粉をまぶしておく
②チリソースを作っておく (市販品でもOK)
③フライパンにたっぷりの油とニンニク、白ネギを入れ弱火で炒め、香りが出てきたらタチウオを入れる
④熱が通ったらチリソースを加えて少しとろみが出てきたら完成!

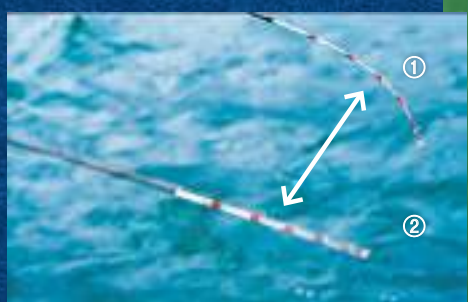
「船釣りの作法」動画公開中。
SHIMANO TV または
YouTube SHIMANO TV
公式チャンネルにてご視聴いただけます。

バイブレーション釣法の作法

テナヤが海中でどう動くのか
明確にイメージする。

【竿先と海中のテナヤの動き】

①竿先によってテナヤが跳ね上げられ
②竿を素早く下ろしわずかに糸フケが出た瞬間にテナヤが横を向いてフラッシングする



ビデオ撮影による2コマを重ねた画像。竿先を小さく跳ね上げ、スッと下ろしたときテナヤが一瞬横を向く。この連続動作がバイブレーション釣法のカギ。暗い潮の中でも目立つ腹の明滅に加え、大羽イワシの尾が生きているように動く

富所さんは大羽イワシを装餌したサーベルマスター船テナヤ40号を投入、アナウンスされたタナを探り始める。9:1調子のサーベルマスターXRテナヤ91H170をほぼ水平に構え、穂先を小さく弾くように、止めることなく断続的にシヤクする。同時にフォースマスター200のハンドルノブに手を添え、竿の上下動に合わせて送り出すように小刻みに回す。



▲ヘッド底辺がフラットな形状をしているサーベルマスター船テナヤはショートピッチの誘いでローリングアクションする



▲バイブレーション釣法による手首の負担を軽減してくれるXシートエクストリームガングリップ

テナヤタチウオタックル

道糸=タナトル8 1.5号

竿=サーベルマスター XR テナヤ 91 H170

リーダー=オシアリーダー 30ポンド(8号) 3m

リール=フォースマスター 200

テナヤ=サーベルマスター 船テナヤ 30-50号

【サーベルマスター XR テナヤ 91H170】

◎軽量で感度に優れた穂先と軽快に誘い合わせることが可能なネジレ感のないブランクス。そしてドラゴンの重量をしっかり受け止めるバットパワー。テナヤタチウオに必要なとされる性能を高いレベルで備えたハイスベックモデル。4アイテムの中で僕がバイブレーション釣法に使っているのは最も先調子の91H170です。(富所潤)

●SPEC 全長1.7m、2本継、仕舞寸法88.6cm、自重145g、先径1.2mm、オモリ負荷30～60号、カーボン含有率96.1%



▲脇挟み時にも魚信を伝えてくれる軽量高感度カーボンモノコックグリップ

小刻みに跳ね上げるような誘いには91H170がおすすめと富所さん

なり小刻み。たしかにこれなら力をそれほど使わない。「張りの強い91調子の竿であれば、最小限の力で竿先を弾くように小さく誘うたび、海中のテナヤはヒラを打ち、弱ったイワシが腹を見せながら泳ぐように動きます。しかも、小刻みにゆつくりと上に泳ぐのでアピールも高く、アタリも見逃しません」

アタリは1投目から出る。とはいえず、目で見えるものではない。「バイブレーション釣法のアタリは重

さの変化となって伝わってきます。たとえば40号のテナヤをシヤクついていたのが一瞬、0号になる感じです」合わせは即掛け。掛からないときは、振り上げた竿をゆつくりと、パタパタと誘いながら水平に戻す。「このときマルイカのたたきのように激しく誘う必要はまったくありません」そして静止させて次のアタリを待つ。「タチウオはテナヤを見ているから、ここでは15秒、ときにそれ以上、しっかりと止めて、次のアタリを待ちます」

15秒と聞いても多くの人は数秒しか待てないと言ふ富所さん。実際に声に出してカウントすると、たしかに長い。15秒以上たつて、不意に竿先がフツと戻り、またはタイツと引き込まれ、合わせると掛かる。

次投ではアタリのあったタナを中心に指示タナの上、あるいは下限と、幅広く小刻みなシヤクリで誘い、アタつたら即掛け→空振つたらロングステイで掛けていく。

富所さんはここに書いた以上のアレンジを行なうことなく数を重ねる。そして1人突出してペースがよいため付近の船から注目を集め、同じ動作をする人が増えていく。

実はこれ、ティップエギングと同様で、富所さんの釣りはだれでもマネできそうなほど簡潔なのだ。「テナヤの形状、エサの大きさ、竿の調子、リール、そして誘い。すべてにおいてバランスが取れると、余分な動作は不要になります。僕にとって東京湾のテナヤタチウオでの到達点、省エネタイプのバイブレーション釣法です」

無駄がないから楽。寒だから楽しい。これが、富所流バイブレーション釣法の作法である。

